

事例

食で伊万里を元気に
～地域一人ひとりが参加できる持続可能なまちづくり～
(第8回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞)

佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部

佐賀県立伊万里実業高等学校フードプロジェクト部は、「食で伊万里を元気に」をキーワードに、地元食材や規格外食材を活用した商品開発や食品ロス削減、食育の推進等に取り組んでいます。

伊万里市が実施した市民調査の結果で、地産地消を実践していない人の割合が約半数を占めていたことや、日本の食品ロスの現状、食育の推進等から各地域で持続可能な社会を構築することの必要性が明らかになりました。そこで、新しい食の循環システムを構築すること、地域住民一人ひとりが参加できる持続可能なまちづくりを行うことを目標に掲げ、これまでの活動を更に発展させながら、企業、NPO法人、地方公共団体、学校、市民が一体となり、活動に取り組んでいます。

取組の一つであるフードドライブでは、各家庭で余った食品を回収し、ひとり親世帯への宅食便や子育て支援へとつないでいます。また、県内に工場がある水産加工会社との共同開発で、本来であれば廃棄される魚の骨を活用した「お魚ビスケット」を商品化しました。さらに、令和5（2023）年には寄附食材や地元の焼物組合から提供された食器を活用した、伊万里市初のこども食堂「学びのKidsレストラン」を立ち上げ、毎月1回開催しています。「学びのKidsレストラン」は食支援の場だけでなく、学びを融合させた場として、生徒が箸の持ち方教室、魚の食べ方教室やSDGs講座、郷土料理教室等の食育講座を実施しています。参加した子供たちからは、「朝ごはんの大切さが分かった。」等の声が聞かれ、SDGsの推進と、食育活動を融合させた新たな学びの場として注目されています。

今後も企業等と連携した活動を多く取り入れ、地域への更なる定着を目指していきます。また、地域の未来を担う子供たちへ私たちの活動をこれからも伝えていくとともに、地域一丸となって持続可能なまちづくりができるよう、できることを精一杯続けていきます。



開発した商品の販売会の様子



商品開発製造実習の様子



学びのkidsレストラン

第5章

生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等